

# 緩和ケア病棟における医療の実態を明らかにする多施設共同研究

## 1. 研究の対象

18歳以上のがんの患者さんで、平成29年1月1日から平成29年12月31日に当院で緩和ケア病棟に入院された方。

## 2. 研究目的・方法

国内の死因別死亡率の第1位はがんであり、今後も増加すると予想されています。がん患者さんが外来などで話される不安や心配の一つに「緩和ケア病棟ではどのような医療が行われるのだろう」というものがあります。医療用麻薬の使用量などについての研究はされていますが、これまで、緩和ケア病棟に入院された患者さんの状態と行われた医療の実態について、細かく調べられた研究はありませんでした。

緩和ケア病棟で行われている医療の実態が分かることで、緩和ケア病棟に対する不安や心配が軽減することで抵抗感が減り、緩和ケア病棟における治療を必要に応じ受け、がん患者さんの症状や生活の質が改善することが期待されます。

本研究では、国内の緩和ケア病棟に入院されるがん患者さんの状態と、行われた医療の実態を知ることが目的とします。

本研究は、日常診療で行われている診療情報を収集する前向き観察研究です。本研究のために新たに行われる評価、検査、治療はありません。

本研究の研究実施期間は4年間です。

## 3. 研究に用いる試料・情報の種類

日常診療範囲内で取得する、症状（痛み、息苦しさ、だるさ、食欲不振、息の仕方、発熱、意識の変化など）、活動性、治療（痛み止め、栄養、輸液、解熱剤、抗生剤など）などです。

## 4. 外部への試料・情報の提供・公表

データセンターへのデータの提供は調査票の郵送により行います。本研究専用の研究番号を用いて患者さん個人を特定することができないように管理を行います。当院の研究責任者が保管・管理します。

### 【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談やお問い合わせ（研究資料の入手方法を含む。）、またはご自身の診療情報につき開示のご希望がある場合は、下記連絡先までご連絡ください。なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は、お申し出ください。その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 緩和ケア内科 吉岡 亮

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地

電話 075-381-2111（代）

研究代表者：聖隷三方原病院 森 雅紀